

平成27年度 施策評価表

	課・グループ名	住民課環境交通グループ
--	---------	-------------

作成年月日：平成28年9月1日

施策名	④防犯対策の推進 5-3-④		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	5. 安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまちづくり	(3) 安全、安心な生活を支える防災・防犯対策の推進	④防犯対策の推進
①施策のねらいと展開方向	●継続的に防犯意識の向上を図るとともに、地域住民・教育関係各機関・南幌町生活安全推進協議会・栗山警察署が連携して防犯対策の強化に努め、「安全で安心なまちづくり」を推進します。		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	●南幌町生活安全条例に基づき設置している南幌町生活安全推進協議会と栗山警察署、関係団体と連携及び情報交換を行い安全で住みよい地域社会に向け防犯対策に取り組んでいます。	●多様化する街頭犯罪に対する情報発信、啓発活動を継続実施していくが、高齢者を狙った悪質商法の被害を未然に防ぐため関係機関と連携し防犯対策を強化する必要があります。 ●子どもに対する声かけ事案等が後を絶たないことから、通学路等における安全対策を一層進める必要があります。	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況								
① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名			数値化		
			成果指標 (総合計画・施策評価)			可 能		
						不 可 能		
						未計測		
			代替指標 ※成果指標がない場合			指標の設定		
		刑法犯発生件数		○	可 能	不 可 能		
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。								
② 指標データ	単位	過年度実績			当該年度	目標年度	達成率増減の理由	
		H24	H25	H26	H27	H28		
	目 標	件	0	0	0	0		窃盗犯の減
	実 績	件	69	40	55	40		
達成率	%							
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点		
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)			施策の達成度	・多様化する特殊詐欺を未然に防ぐため町民や事業者への情報発信、啓蒙活動や防犯パトロールを継続する。 ・町民の安全意識の高揚と自主的防犯活動の推進を図る。		
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)						
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)			B			
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)						

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類	【必要性】事務事業の必要性	【妥当性】町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H27)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>	
					目標	実績					単位	H27実績		H28予算
1	街路灯等補助金交付事業	(1)	住民課	①夜間の交通事故件数 ②夜間の路上犯罪件数 (※夜間=18時~6時)	①0		件	II	II	2-1 見直して継続 拡大	2,550	高い		
					②29						4,410			
2	生活安全推進協議会助成事業	(1)	住民課	刑法犯発生件数	0		件	II	II	1 現状のまま継続	175	高い		
					40						40			
3														
4														
5														

年度別施策全体の事業費合計(千円)

H27事業費 2,725

H28予算 4,450

②H28に実施した新規事務事業

	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H28予算(千円)
1					
2					

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	各町内会・行政区、工業団地企業協議会の適正かつ効果的な設置・維持管理により、街頭犯罪や交通事故の防止につながっている。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	事業構成の妥当性	A

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。		事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成29年度以降の予算の方向性
	A	1							
	B	2						拡大	
	C							○ 維持	
	D							縮小	